

水道管の

凍結・破裂を防ごう!!

凍ると大変

●水道の水が使えない。

寒い日が続くと凍結により修理が増えると、すぐに工事業者は来られないことも。

こんな時は
要注意

- 4℃以下**になるとき
- 旅行・帰省などで数日間留守にするとき



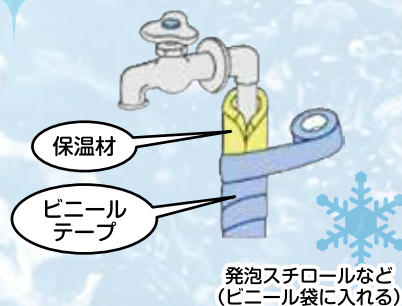
屋外水栓やメーターの保温を!

★屋外の水栓の保温

- むき出しになっている水道管は、発泡スチロール製などの保温材で保温してください。

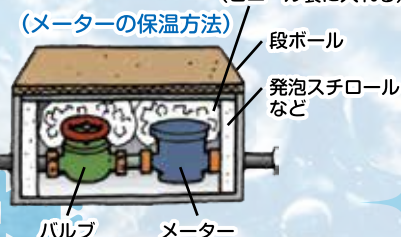
※ ホームページに掲載している指定給水装置工事事業者で施工できます。

※ ご自分でされる方は、保温チューブはホームセンターなどで販売しています。



★メーターの保温

- メーターボックス (量水器) のフタが鉄製の場合は、発泡スチロールなどの保温材を入れましょう。



水道管の凍結や破損事故の応急措置は？

①凍結により水が出なくなっても、日中気温が上昇してくれば元どおりに水は出るようになります。

②水道管にタオルをかけ、その上から**ぬるま湯**を**ゆっくり**とかけて溶かす方法もあります。

※ 熱い湯をかけると、水道管が破裂する恐れがあります

③万一、宅地内で水道管が破裂したときは、元栓（バルブ）を右に回して水を止め、指定給水装置工事事業者に修理の依頼をしてください。

※ なお、費用については、お客様のご負担となります。



凍結した後に赤い水がでたときは…

●凍結後に水を使い始める時に、濁った水がでることがあります。濁りがなくなるまで、しばらく水を流してください。

空き屋の水道管破裂に要注意!!

①全く水を使わないなら、水道を止めておくの良いです。

②住人がいないので誰も漏水に気づかずに水道料金が高額になることがあります。

③冬場に長期間留守にする場合は、元栓を止めておくの良いです。

※ **道路上、空き屋などでの漏水を発見したときは、市役所水道課への連絡にご協力ください。**

災害に備え、ご家庭で飲料水の確保をしましょう!!

飲料水は、1人1日3リットル

●人間は1日3リットルの飲料水が必要といわれます。災害時には給水車による応急給水まで3日間かかることも予想されます。



※ 3リットル×人数×3日間

生活用水の確保も大事です!

●災害時には、飲料水以外に洗濯やトイレの排水などの生活用水は大量に必要です。



※ お風呂の残り湯はすぐに捨てずに貯めておこう!



※ 水道の水を容器に入れておこう!



お問い合わせ
はこちらまで

宮若追出し猫
「桜ちゃん」

宮若市役所 水道課【(月)～(金)8:30～17:15】

TEL.0949-32-1005 (直通)

【夜間・休日・祝日】のお問い合わせ先

TEL.0949-32-0510 (代表)

<http://www.city.miyawaka.lg.jp>